

## 9. 来シーズンに向けて

### 新年度を迎えるにあたり

新監督 山 神 孝 志 (H2年卒)



新チームは、山田主将、秦・松井副将の下、関西Aリーグ優勝と大学日本一を目標にスタートしました。大学日本一を目指すに当たっては、「大学選手権で勝ちきるチームになる」という命題がまず有り、昨年の戦い方を分析しチームの方向性を説明しました。現在は示したチームのフレームをしっかりと部員一人ひとりが理解できるように、必要な項目について原点に戻ってスキル精度を上げているところです。

チームは成人式の後からウエイトとフィットネス強化から始動し、昨年度を上回るフィットネスレベルを作るべく意欲的な雰囲気の中で練習しています。8年ぶりの関西リーグ優勝と大学選手権で寄せられた期待の大きさは、学生にとって新たな風景を見る機会となり、勝つチームになりたいという思いが強くなり、モチベーション高く練習に取り組んでいます。

「勝つ」ことは最良の経験であり、自信を得て大きくチームが育つ下地になると思いますが、学生スポーツに絶対は無く、山田を中心とした新しいチームとして作り込むことが大切だと考えています。昨年の結果は才田組の残したものの、昨年度の4年生がまとまりチームを変えて行った結果が、関西制覇でした。多くの下級生が残った学年だから強くなるとは限りません。これまでもその様な期待を受けながら満足の行く結果を残せなかった歴史があります。我々の成すことは昨年のチームと比較する事でなく、卒業生の残してくれた「覚悟のシーズン」を糧に、大学選手権で勝ち切るチームになる努力を続けることだと考えています。

山田組はスローガンを「BREAK」に決めました。関西リーグを全勝する事、大学選手権で勝ちきる事、あと一步の状況を断ち切り、突破するという思いからこの言葉を選んだと思います。スローガン決定の後、部員一人ひとりに本当の意味が落とし込まれているか、その上で具体的にどう行動するのかを考える作業をしています。言葉にするのは簡単です、行動に落とし、振り返りを行い、更に上を目指すことを続けるためにも全部員が言葉の真の意味を理解し、行動できるチームにしたいと考えています。

この原稿が届くころには新コーチも発表されていると思いますが、同志社を外から見て新たな考えをもたらしてくれるコーチをお願いしました。新しい考えとこれまでのやり方を建設的に検証し、相互の良さが練習や戦術に生きる化学反応を期待しています。一所懸命やっているだけで、正しいことをやっているとは限りません。新たな視点を得てチームを進化させたいと思います。

当たり前の努力は他チームもやっています。大東文化に勝てるチャンスは有りましたが、必ず勝つチームになる努力はまだ必要でした。「勝までの3点差の意味を考えて欲しい。」才田前主将の残した言葉を忘れず、さらにその先を目指し勝ちきるチームになるために、居心地の良い練習にはならないと思います。

西鉄ライオンズを3連敗の後、ジャイアンツに4連勝して日本一になった三原修監督は、「アマは和して勝つ、プロは勝って和す。」という言葉を残しています。「和して勝つ」は必要な事ですが、練習や競争の厳しさを越えた先にある「勝って和す」チームにならなければ、真の強いチームになれないと思います。

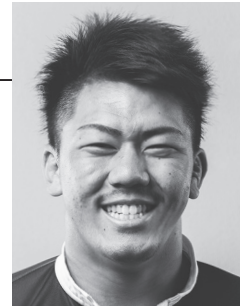
そして、もう一つ勝てるチームに必要なものは、学生の「自主性」だと考えています。エディージャパンが最後まで選手に求めたものが「自主性」にあったように、ラグビーで勝てるチームに有るのは、このプレイヤーの自主性であり、同志社の大切にしてきたDNAです。その継承と目標達成に向け、日々精進して参ります。引き続きのご指導ご支援をお願い申し上げます。

## 来シーズンに向けて

新主将 山 田 有 樹 (3回生・常翔学園)

今年、同志社大学ラグビー部のキャプテンを務めさせていただく山田有樹です。今年のチームスローガンはBREAKというもので、一人一人が練習から100%の力を出しきり、チーム一丸となって去年の先輩方の記録、関東の壁を突き破っていくというものです。

また、関西二連覇、大学選手権優勝という目標に向けて、厳しく、楽しく、このチームをまとめ、引っ張っていこうと考えています。これからも同志社大学ラグビー部をよろしくお願い致します。



## 来シーズンに向けて

新副将 秦 啓 佑 (3回生・小倉)

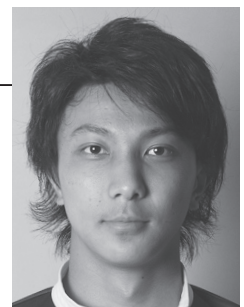
この度、副将を務めさせていただくことになりました秦啓祐です。昨シーズンは、関西リーグ優勝という目標は果たせたものの、全国ベスト4、そして日本一という目標は達成できませんでした。今年は、この3つの目標を全て達成するべく本気で帝京大学に勝てる、またトップリーグのチームに勝てるチームを目指しています。今年のチームスローガンであるBREAKのもと、チーム全員がこの目標にコミットし、昨シーズンの結果を越すために、自身の力を高め、互いに競いあっていけば、私たちが望んでいる結果が得られるのではないかと考えています。また、主将をはじめ、今年の四回生には色々な形で自らがチームを引っ張っていく力があると思っていますので、副将の仕事としては、チームを後ろから押し上げていけたら良いかと考えています。昨シーズンはたくさんの応援ありがとうございました。本当に力になりました。今年も応援よろしく願いいたします。



## 来シーズンに向けて

新副将 松 井 千 士 (3回生・常翔学園)

今シーズン同志社大学ラグビー部の副将を務めさせていただく松井千士です。いつも試合会場に足を運んでいただき、ありがとうございます。今シーズンは関西リーグ2連覇、大学日本一をチームの目標にしました。私が1年生の頃から大



学選手権でベスト4にも入ることができないチームが日本一になるためには、今年はチームとして個人として大きく変化しないとこの目標は達成できないと思います。チームにいい変化を与えるために副将と言う立場からチームを支える存在になりたいと思います。そして私個人としては、今年はリオオリンピックで7人制ラグビーが初出場を決め、今日本代表候補スコットに入って合宿や遠征に参加させていただいているので、まずメンバーに選ばれてリオオリンピックでメダル獲得を目指したいです。このような貴重な経験を同志社ラグビー部の部員に伝えることも私の役目だと思っています。今年も同志社ラグビー部の応援よろしくお願いします。

## 来シーズンに向けて

新BKリーダー 大越 元気 (3回生・茗溪学園)

こんにちは。今年度、BKリーダーを務めさせて頂くことになりました、大越元気です。

今年は、BREAKというスローガンのもと、何事にもやり切るという気持ちを持ち個人としてもチームとしても目標を高く持ち日々練習に励んでいきます。例年になく厳しい環境を自ら設定し、私自身の成長がチーム全体の成長につながると思うので、常に高い意識と使命感をもって今年一年頑張ります。

もう負けたくありません。勝ちにこだわって関西では圧倒して二連覇し、関東の大学を常に意識して大学日本一まで駆け抜けます。

今年も、同志社大学ラグビー部に温かいご声援をよろしくお願いします。



## 来シーズンに向けて

新BKリーダー 永 富 健太郎 (3回生・修猷館)

チームとしては去年越えられなかった関東の壁、帝京の壁を越えるためにBREAKというチームスローガンを決め、1月1日を限界突破していくことで来年の1月10日に自分たちが決勝の舞台にいることをイメージして練習に取り組んでいこうと思います。

バックスとしては必ずゲインラインを取りに行く一次攻撃の精度、ディフェンスでのターンオーバーを重視していこうと考えています。さらに早くボールを動かすためにフィットネスの向上にも昨年以上に力を入れて、見て楽しい、やって楽しいラグビーを実現させたいと思っています。

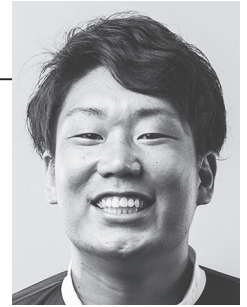
去年の12月27日を胸に刻み全員がああ悔しさを忘れることなく日々精進していきます。今後とも応援よろしくお願いします。



## 来シーズンに向けて

新主務 伊藤 豪志 (3回生・大分舞鶴)

平素よりご支援、ご尽力頂きましてありがとうございます。2016年度主務を務めさせていただき伊藤豪志と申します。昨年は惜しくもベスト4を逃し、大変悔しい想いをしました。しかし、4回生が残してくださったものは私たちの中に深く残り、成長を実感させてくれる大きなものとなっております。今年度は山田キャプテンのもと、ベスト4、日本1を目指し日々練習に励んでいきます。今年度は春から多くの遠征を予定しており、全国各地で関東のチームとの対戦を控えております。昨年の大学選手権セカンドステージ慶応義塾大学との試合のようにホームを思わせる同志社カラー一色のあの声援を、全国各地で聞かせて頂くことを楽しみにさせていただきます。今年一年間、山田組へのご支援、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



## 来シーズンに向けて

新寮長 崎口 銀二郎 (3回生・大阪桐蔭)

今年度寮長を務めさせてもらうことになりました崎口です。今年一年間寮生活において一番上の立場になるので、自分の生活面をしっかりと正し、後輩たちの見本になっていきたいと思えます。また共同生活を送る中で一人一人が周りに気配りが出来る人間になるように寮生全員で成長していきたいと思えます。ラグビー面においては、昨シーズンは関西リーグで優勝することができましたが、大学選手権では関東の壁をこえることができず予選リーグで敗退してしまいました。今年には関西リーグ優勝、大学日本一という目標達成の為に、またその舞台上で自分がグラウンドでプレーできているように日々の練習を頑張っていきたいと思えます。今年一年応援よろしくお願ひします。

